明治四十一年十二月二十日第三種郵便物認可 (日刊) 月曜及祭日之翌日休刊 明治四十四年六月二日(金曜日) 第六百九十三號 (一)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙 ▲一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金
定價 一圓八十錢 ▲郵稅一ヶ月十五錢
廣告料 ……
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久騎一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
仁川支局 仁川本町三丁目

時間表

獨逸殖民地(四)

ケーオー生

當初獨逸の殖民政策は極めて消極的であつた、領有した殖民地を特許會社の經營に委ね、行政司法の公法的行政をそれに執せると共に其費用を會社に一切負擔せしめた、特許會社は何れの國でも一度は皆失敗の歷史を有して居る、獨逸でも其結果が面白くなかつたので、終に國家直接の經營に移し、殖民地の歳入出も自から經理するに至つた、然るに獨逸の殖民地の英吉利や佛蘭西と比べると土地が惡いのと、經濟的の發展が鈍く且つ其間に阿弗利加土民の反亂を惹起したりして經營を要することも尠なからず、一九〇六年の議會では過半數の反對を受けて、豫算案否決となり終に議會を解散した、それ以來殖民省を設けて銀行家出身のデルンブルヒ氏大臣となり大に殖民地經營に力を盡した爲め、今日では殖民地財政は好調に赴き、ドーゴー殖民地は財政の獨立をなし、東阿弗利加も又殆んど獨立に近くなつてをる、併し殖民地全体の歳出入が五千萬圓内外で、之に國庫補助金が千万圓餘である、最も軍事費は殖民地負擔であるから、純粹の民政費なら國家の補助は大分少なくなると云ふ事である、殖民地財政は到底英佛の比較にならぬ、英國殖民地は加奈太だけでも七億萬の歳入に二十六億萬圓の公債を負ふて居るが、佛蘭西のアルゼリーは軍事費と鐵道補給に本國負擔として、約四千萬圓の歳出入になつて居る、尤もアルゼリーの如きは一八三〇年から一九〇六年まで大約三十五億萬圓の經費をかけて居る、其中十億萬圓はアルゼリー自身の歳入であるが、二十五億萬圓は本國から注ぎ込んでをるのである、資本を少なくかけ歳月の短い割合に、獨逸は經營に巧みなものである、尚ほ此外財政に付て細かく述ぶれば澤山な事項を列擧せねばならず、其では餘り長くなるから省略し、一言附加へて置きたいのは現在までの殖民地歷史によれば、殖民地の成功は財政の獨立が出來る事にあるので、英國の自治殖民地は軍事費を本國に寄附して居るが、之は眞の寄附的行爲であつて、英國が法律の力で取るのではない、又昔的殖民地政策で所謂重商主義であつて、殖民地の財産を本國へ取るのは一つの古い策で、今日の殖民地は獨立の經濟的發展をなし、本國と間接の利益を享くことが殖民政策として各國共に歩める所である、此次に獨逸は司法的制限に付て殖民地に對し如何なる方法に依てをるかを研究して見よう。

漫筆 風行錄(一)

天人見

◉公桂、輕井澤に娛過し、侯西園寺、別府温泉に耽遊す。大冠長紳、洵に廟室の器なるかな。

◉万金を懷にし、阿嬌に騎り、醇醴に醉ひ、肥鮮に飽き、洸洸昂昂乎として暑を山阿水邊に避け、以て一代の榮を張るが如き竟に吾儕の事に非ず。吾儕には唯讀書ある而己。以て熱著を銷する而己。是れ即ち冷の一工夫也。

◉我朝鮮に於る所謂紳士、能く讀書趣味を解する者、幾何かありや。吾儕之を疑ふ、想ふに彼等の友とする所、歌妓賀婦の徒に非ざる莫き耶。欲する所高粱酒精の類に非ざる莫き耶。

◉曰者、督府醫院連、精神修養の爲に抄讀會を開くと、亦以て醫博十森安某等を多とすべし。蓋し忌克、便佞の徒多く之を醫間に見る。抄讀會、輙ち汝が所病弊を醫治するに足らん。幸に旃を勉めよ。

◉昔者、明の劉伯温、巧に賣柑者の言に託して、以て能く時事を諷す。吾儕試みに之を假りて、當世人士の頂門を刺さん乎。

◉曰く「杭に果を賣る者あり、柑を藏して、寒暑を渉るも潰れず、之を出せば燁然。玉質にして金色あり。市に置けば價十倍し、人爭ふて之を鬻ぐ。予(劉)貿ふて其一を得、之を剖くに煙あり口鼻を撲つ、其中を視れば、則ち乾きて敗絮の如し。

◉予(劉)怪み之に問ふて曰く。將に以て惑瞽を鬻はさんとする乎。欺くことも甚しいかな矣と。賣者笑ふて曰く、吾れ是を業として年あり。吾れ之を售れば、人之を取り、未だ曾つて言あらず。世に欺を爲す者寡からず、獨り吾れのみならんや。而も吾子は未だ之を思はざる歟。

◉今夫れ虎符を佩び、皐比に坐する者、洸洸として干城の具也。果して能く孫呉の略を授くる耶。大冠を峩にし、長紳を拖くもの、昂昂として廟堂の器也、果して能く伊臯の業を建つる耶。

◉盜起るも禦ぐことを知らず。民困しむも救ふことを知らず。吏姦なるも禁ずることを知らず、法斁るも理むることを知らず、坐して廩粟を糜すも恥づることを知らず。

◉是れ焉んぞ其外を金玉にし、其中を敗絮にするものに非ざる歟。今子、之れを是れ察せずして、以て單り吾柑のみに言ふ。」と。

◉一讀凉然、汝の頭を觸動するものあらん。汝の腦膸を愧殺するものあらん矣。

●夜學校めぐり(二)

山村生

前號に述べたるもの也、東京市麴町區內山下町東洋協會(…)

第二夜 京城南台會館

總督府の補助金、利子、數場の眞中に、巍然として居る、總督府の補助金及び其本金の利子三萬圓全部を使用し、米國よりの寄附金及び其本金の利子を以て經營し居る丈けあつて、校舍も、教師も、皆ひ切つて金を使つて居る、學科は日語科と英語科の外に英語、簿記等がある、日語科は二名の日本人が教授してをるに學生は九名しか居らなかつた、之れは雨模樣の空であるからだと、學監が說明して居た。

第三夜 C學校

これは一寸校名が申し難い、寺洞邊で一つの夜學校へ飛び込んで見ると、コレハしたり、火事らしいので、案内もソコ／＼に、喧ましい聲の出る室へ入ると、二度ビックリ、一人の先生が十六七の生徒を引き卸し、鞭で足を打つて居る處であつた。

不思議な事にはアレ程打たれ、又アレ程泣く位なれば、日本の學生であれば、教場から飛び出して逃げて仕舞ふべき筈であるに、之れは靜かに直立して、打たれる儘に、打たれて居た。其の先生曰く、私は早稻田入學で勉強した者ですが、朝鮮では、まだ鞭が必要です、ミツドル、エージですからね……三度驚いた。

▲危機 葡萄牙國予黨叛亂愈々實ならんとす富裕の國民相率ゐて避難を企つ。

▲衛國 政府は重砲兵を國境に配備し警戒の力め軍隊、援將に起らんとす。

▲米國 紐育遊山場入火災を起し其損害額一百萬弗以上ならむと推定さる。

▲支那 郵傳大臣盛宣懷氏は六月一日より電報總局を上海より北京に移す。

▲北京にありし駐清獨國公使汪氏は二十八日北京出發渡日赴任の途に就く。

▲最近奉天支那人間に新聞熱盛んに奉天のみにて漢字新聞十一種に達す。

▲軍港 露國は黑海に面するセバストポールを近く單獨軍港に改築す可し。

▲減水 黑龍江の水量著しく減少流船の航行を得ず貨物輸送に困難を極む。

◎新刊紹介

△東京經濟雜誌(第千五百九十六號) 勝部農商務參事官の「取引所と其將來改良」社說の「株式仲買人、勝改良」「當局者、公債市價計算」矢野龍太郎氏の「國本主義と道德主義の調和」等經世家の讀むべきもの其他例によつて經濟財政に裨益を與ふる記事に富む(一冊十二錢東京市京橋區瀧左衛門町東京經濟雜誌社)

△東洋時報(第百五十二號) 添田鐵總裁の「朝鮮所感」江木拓殖局部長の「朝鮮に對する農民の移住」等殖民政策上參考となるべきもの多し稻田周之助氏の「新聞紙の取締」は御用記者だけに

召使れ初

第六十七回

黑法師



「まことに先日の大恩、什麽として御報ひ申し上げる手術もなく、只心を許し居るでござりまするにれ察、淺々ながら、御緣盡きず、今日た目に掛るは蝸牛の火を見る歎びでござります」

「さほどの事でもないを、左樣仰せ下されては痛み入る、拙者、其後は不幸續きで、從に德兵衛の厄介を受けねばならぬ羽目となつた、妹と云ひ、拙者と云ひ、又れ手前まで當家厄介になるといふも、前世からの因緣と思はれる、まこゝに不思議の至りでござる」と佐十郎、赤澁といふ

「れ當、御厄介と相成るも、皆れ旦那樣御緣からでござります」

れ察はこれを冒頭にして、當家が中に仕み込みたる一伍一什を物語る、主人聞いて

「德兵衛殿、慈悲、他の難儀苦勞を見ては、身の肉も殺がうとするなれど德兵衛門にはさうもない、我等先年うの者ひ中てられた例もある、れ察のどうの心付はござらぬかの」

「別に心付いた事もござりませぬ、旦那樣ほどはござりませぬが、若旦那樣も情けあるなされ方、餘人には存じませぬ、私へは心切れ詞を下されたこともござります、然し……」と云ひかけて膝を崩める時德兵衛は又出て來りぬ

「れ察どのと若旦那樣とは、格別御懇意のれ間柄と承はり居りまする、只今れ聞きでもござりませう、れ察どのの出世の緒、れ道樣御所望で、今日より御殿へれ上り爲さる筈でござります」

「さては汝文字が……」と佐十郎は他の出世を聞くごとに宛ら身を削らるゝ如き思ひ「……れ召し抱ねござるかの」

「れ召抱わと申す程でもござりませぬが、れ浮樣御出世に就て、那妹子の一人二人を御用、それには氣心の知れたれ察どの望みとのれ申し入れござりましたで、先刻旦那樣ナ目に掛り、御同意得て參つたでござります」

「はゝあれではれ察どの、妹に召使ひにれ露りと見ゆる」

「先年はあなた樣れ手に危い場所、御助かりを蒙り、其度はまたれ藩樣れ手に由つて御殿勤めの端、列なる何から何まで御世話れ情を受ける事、誠に世からのれ約束でござりませう、併上方からすれ添へ願ひ上げまでござります」

「大樣かの」と佐十郎は太い息、少時して「では妹にもれ逢ひの筈かと」

「今日明日には、きつとれ目に掛ります」

佐十郎は手を叉みたるまゝ、無言なりき、德兵衛もれ察も心付かねど、佐十郎の面上には、れ察た道の御局勤めに上ると聞きてより一むら雲の掛るを見たりき。

佐十郎が何故此事を聞くと齊しく憂の色を現はしたるかは知るよしなし、れ察は見上げて。

「れ手紙でも參りませぬか、高々一れ傳す致すべき事あらば、御遠慮なく仰せござります」

「ともや好い處へれ出でなれた、若旦那樣もれ道には久しく御對面なさせられで、さぞれ懐しう、一筆さつどれ手紙をなされませ、れ察どのもとれ屆け申すでござります」

「さらば雜作に預かるの」と佐十郎は沈みたる聲なりき。

折柄執次、丁稚、次の間に出で來り「正木樣御新造、御用の次第あり」とて、唯今これへれ越し」の旨、口早に云ひかけり。



京城新報

神宮社殿造營國庫補助の請願は如何になりしか

過般開かれし京城民會にて、議員和田常市氏の建議を容れ、大神宮の社殿造營費として國庫の補助を仰ぐことを其筋に請願する事を決議し、民團民長は直ちに總督府に該請願の手續を了せしことは、其請願主旨摘要と共に當時の本紙にて報道せるを以て、今猶讀者の記臆に新たなる所なるべし、此京城民會の請願は洵に機宜に適せるものにして、政府當局者の之を嘉納するは素より當然の事なりと吾人は思ふ。

何人と雖も、現在の大神宮社殿の粗造なるに加へて、神苑狹隘にして彼の稻荷神社の祠と其構造の大差なきを見ては、眞に畏多き感を惹起せざる者はなけん、曾て一外國人南山に登り大神宮社殿に賽し社殿の餘りに見すぼらしきに一驚を喫し更に本願寺の堂宇の宏壯なるに再驚し、移住民が皇祖神靈の尊敬を冒瀆することなきやを疑ひし事は、吾人『外人の見たる半島』と題せる記事中に收め之を本紙に掲載し移住民諸士の反省を促したることありき、外人にして此言を爲す、國民として誰か恨怩の念なからんや。

殊に、日鮮同一國となりし今日、官幣の一大神社を營し添ふるに清淨なる神苑を以てするは、國家として爲さゞるべからざるの急務なり、而して祭神は取て他に之を求むるに及ばず、神威赫灼として長へに皇國鎭護を立たせ給ひ、万世一系之を他に見るを得べからざる國體の基礎を定めたまひし天照大御神を齋き奉り、朝夕拜祀を得せしむるにあり、即ち伊勢大廟を遙拜するの宮殿となし、新附の民をして皇祖宗神靈の如何に尊嚴なるかを知らしむるのみならず、忠君愛國の精神を涵養せしむるは新領土經營上最も有効なる美事なりとす、吾人は京城民團の拔に着目せしを歡ぶ。

想ふに、民團理事者は請願の目的を達せんため、其後當局者に陳情を重ねつゝあらん、吾人は當今敬神の念渥き寺内總督の此地に在るを以て、一層此請願の有望なるを信ず、民團理事者それ奮勵して此好機會を逸する勿れ、而かも、此請願の目的を貫徹せんと欲するには獨り理事者にのみ委すべからず、苟も、毎に皇天の殊寵を享け天佑を信賴する我が神州の民たる者は須らく盡力せよ、これ我皇祖神德報賽の實を擧げ國家に奉ずるの誠を捧ぐるの所以なりとす、然るに移住民諸氏が自ら希望して措かざりし此事業に對し既に忘れたるかの如く冷淡なるは吾人怪訝の念を禁ずる能はず、熱心なる民團理事者は決して等閑に附せず之れが爲めに奔走しつゝあらん、之に添ふるに後援の聲の大にして勢を得せしむるにあるに如かざるはなし、由來我京城民團の諸氏が何事も理事者に放任し之を鼓舞し之を刺激することに努めざるの弊風あるは是れ吾人の遺憾とする所なり、諸氏は釜山港民が同地鎭守神社の經營と祭典の盛儀を期するために敬神會を組織しをる事及び大邱民團が森嚴なる大神宮遙拜所を造營し之れが奉祀に怠らざるに見て心疚しき所なきや、吾人は此際居留民一致して敬神の目的を遂し國民性の表彰に努めんことを望む、豈すれ錙銖の算にのみ齷齪するを以て能事とすべけむや。

東京電報（一日發）

▲東宮松浦邸行啓　皇太子殿下には本一日伯爵松浦厚氏邸へ行啓遊ばされたり

▲排日論文の發表　濠州政府の總理大臣は排日論文を公にし機關新聞を以て發表したり

▲米人の日英同盟觀　米國人の有力なる一部には日本の海軍擴張を以て日英同盟の終熄を意味すと觀察するものあり

▲閑院宮新潟御成　閑院宮殿下には六月十三日午後十時上野發列車にて新潟に成らせられ十五日日本赤十字社新潟病院開院式に總裁の御資格を以て御臨場十六日午前七時新潟發列車にて高田第十三師團に御立寄り同日午後五時高田發列車にて十七日上野著御歸京の御豫定なりと

▲安東男爵當選　男爵補缺選擧の結果安東直雄男二百六十七票を以て當選したり

▲水町氏の後任　水町財務官の後任は差向き對外的重要問題なきを以て當分缺員とし倫敦在住森大藏書記官をして其の事務を處理せしむ

▲日本の酒造高　最近の調査に依れば日本に於ける清酒の年産額は壹億六千万圓其の税額八千四百万圓なり

▲原敬氏歸京　支那朝鮮漫遊中なりし原敬氏一行は昨三十一日午後二時十分新橋驛着歸京せり官民の出迎ひ盛んなりき

▲資金融通確定　内務省の地方興業團体に對する低利資金融通は昨卅一日を以て締切りたるが申請總額六百六十万圓に達せり殘部三百四十萬圓の内當日まで地方廳に申請漏れのものには成べく便宜なる取扱を爲す方針なり

▲大博懸賞應募　日本大博覽會工事懸賞募集に就き五月二十日まで參考圖を請求せしもの二百四十餘名に達せり

▲山縣總監歸任期　山縣政務總監は來る二十一日東京出發歸任の途に就く豫定なり

▲桂山默契成立說　内閣受授に就ては桂公山本伯の間に默契成立せりとの噂盛んに傳へらる

▲濟生會の登記　桂公爵は濟生會設立認可を得たるを以て昨卅一日東京區裁判所に設立登記を申請せり

▲後藤遞相歸任期　湯ケ原に靜養中の後藤遞相は來る四日歸任す

▲日銀副總裁歸任　新任日本銀行副總裁水町財務官は昨三十一日倫敦出發西比利亞線を經て六月十五日歸任すべし

▲大博工事懸賞審査長　日本大博覽會工事計畫懸賞審査委員長には平山成信氏委員は工學博士古市公威氏外九名なり

▲中淸尙不穩　長沙附近は依然革命暴徒起るべき兆あり人心恟々たるを以て目下英國砲艦二隻及我軍艦隅田は同地にありて萬一を警戒し居れり

雜報

●森林令改正要點

森林令は既に御裁可濟となりたる事は既報の如くなるが四五日中に公布さるべきも今其改正されたる要點を聞くに主として部分林又は殖林の目的を以て林野の貸下拂下げを請願する者に向て從來よりは利便を與ふる點にありて其他手續名稱等に多少變更されたるに過ぎずと云ふ

●大同江漢江森林調査

農商工部山林課にては今回大同江及漢江の流域及上流に於ける平安南道江原道方面の森林施業案調査のため課員を四班に分ち近く出張せしむる筈なり

●東拓金融部　岩佐理事談片

▲東拓金融部に於ける貸付金は毎月平均五萬圓位の程度を以て增加し來り其現在總額は約五十六萬圓を算せり而して其成績を一瞥すれば如何にも年歩緩慢の觀あるに似たるも此間期限の到達せるもの續次回收されつゝあるに顧みれば先づ以上の平均增加率を以て相當なりと看取し得べし況んや貸付申込額の多くは千圓以内の少額のみなるに於てをや更に貸付手續改正以[illegible]の成績を見るに之を從來に比すれば幾[illegible]簡易となれるを以て彼我の利便[illegible]らざるが如し然れども唯だ玆に一の道あるは不動産に對する所有權の保障向上[illegible]甚だ不確實なる事是なり故に一方彼が[illegible]手段を簡易ならしめたる此方面の[illegible]實に自然煩雜なる手數を要し到底拂々敷[illegible]進捗し能はざるの缺點あり是れ今日の[illegible]なりと雖も成るべく敏速に進行を期し居れる結果一件平均十五日間位を以て決を了はりつゝあり

▲資金の利用方面　如何と言へば小規模の灌漑事業、農具肥料、苗木等の買入及土地改良に要する費用[illegible]なるものとす而して其内最も多く申込み來る地方は開城方面の農民にして其他に在ては寥々數ふるに足らず思ふに開城地方の農民は高麗時代の遺風猶ほ大に存するものゝ如く則ち成るべく官憲の力を藉らず獨力經營せんとする意志強きに依るものなり此種農民の要求は喜むで歡迎すべき所以なりとす

▲農工銀行との連絡　問題は目下懸案中に在り元來東拓會社金融部と農工銀行とは同一目的の下に設立せられたるものなるに以上兩者の間に其連絡を缺き互に相背馳するが如き寧しろ一奇觀と謂はざるべからず故に豫ねても論じたる如く吾が内地に於ける勸業銀行と農工銀行との關係を此兩機關の間に設定するは實に適切の急務なりと思惟す

▲拂込後の東拓株　現在の市場相場を見るに十二圓五十錢拂込みに對し二十三圓五十錢を保てり今之に第二回拂込を加算せんか三十六圓となるも新拂込に就ても多少のプレミヤム生ずべきは之を豫想するに難からず故に拂込後の市場相場は或は四十圓臺を現示するに到らんか云々

●愛婦軍隊の慰問

愛國婦人會朝鮮本部にては第二師團龍山駐剳軍隊の勞苦を慰問する爲去る三十一日兩夜第六十五聯隊雨天體操場に於て慰問會を開催したり兩夜を合せ大島聯隊長各將校下士卒及家族等約三千餘名參集定刻に入るや陸軍々樂隊の壯なる奏樂ありたる後本部の大橋主幹は朝鮮に於ける愛國婦人會が多年鮮各地に於て軍隊及傷病兵の送迎慰問等に微力を盡しつゝある狀況を簡單に述べたる後本部特有の活動寫眞は軍隊の奏樂に依りて順次撮影せられ滿場喝采の聲湧くが如く殊に兩夜とも高峯筑風の音吐劉朗沈痛悲壯なる筑前琵琶演奏には一同醉へるが如く感興最も深かりしが如し斯くて乾燥無味なる兵營内の兩夜は歡聲場外に溢れ散會したるは午後十時なりき

●東拓の拂込通知

東拓會社にては既報の第二回株金拂込期を本月末日限とし三十一日一般株主に通知を發せり

●各道授產計劃（六）

……平安北道……

▲施設事業の大要　同道は四色に列する兩班なく儒生の數亦少し故に是等に向て授産すべき必要を認めざるのみならず少數者のみに特典を與ゆるは多數者の怨恨を招く所以なるを以て寧ろ産業及教育發展の基礎を作り一般的に惠恩に浴せしむべき方針を執れり

▲授産方法の撰定　故に各郡に種苗場を設置し農産物種苗の育成配付を爲さしめ又其附帶事業として林樹の發苗をも行ふ種苗の種類は水稻陸稻小麥大豆桑苗及苹果梨栗大麻馬鈴薯等なり林樹は櫟赤松落葉松赤楊其他速成林の爲めポプラアカシヤを撰定せり而して其設置個處は各郡二十一ヶ所にして巡回技手を置き絶へず各種苗場を巡回して實地の指導を爲さしめ若くは講話を行ふ其他養蠶傳習所を設け專ら女子に養蠶及製糸を傳習す而して同道は往時盛んに蠶業の行はれし地にして現に寧邊明紬の如きは朝鮮名産の一たり然るに輓近非常の衰微を來したるを以て之が挽回を計るは最も機宜に適し一般の要求亦切なりと云へり設立地點は寧邊龍川の二個處にして各十五名の生徒を收容して養蠶を傳習し更に附帶事業として座繰十五臺を備へ製糸をも練習する筈なり

▲其他勸業の獎勵　同道の産牛は品質甚だ優良將來の特産物として最も有望視せらるゝ故に之が改良に腐心せんよりは寧ろ大に蕃殖を計るを以て適當の方針なりとし各郡三面に一頭宛の標準牛を撰定せしめ獸醫を派して之が獎勵の途を講せしむ而して其放畜牝牛を拒ぎ又無代交尾に應せしむる爲め一頭二十圓以内の年額補助を行ふ筈なり更に三面毎に一人の模範農を撰任し耕作法改良の卒先者たらしむべし模範農には年額三十圓の手當を給し其耕作物は道に於て幾分を買收して配布用の種苗に供する筈なり

▲授産費所要資金　本年度授産費に充つべき恩賜公債利子は七千七百三十八圓餘あり故に其經營上何等の困難を見ず豫定の計劃を進行し得べしと

▲人さまざま▼（四十五）

鈴木謙之助君

君は醫道協會學校出身の秀才で入澤博士等と同窓の友である、其生地は神奈川邊りの一村落であるが三歳の時母の乳房にブラ下がつて横濱に移つた、故に純の純なる濱つ兒といふも豈に誰れか否まんやだ、君の專門は外科である、多年順天堂病院に在りて佐藤活人劒博士の薰陶を享けた、其關係から大韓醫院設立に際し博士に伴はれて同院に鋭匕を振ふ事となつたのである、彼の李完用が生命を取留めたのに就て、獨り菊池博士をして令名を擅ましにせしめて居るが、其實は君の手腕に待つたからである、君は實際家たると共に又熱心の研究家だ、最近著名の六〇六號に就ても讀者の生噛りを欲せず自分の外科醫院を休業同樣にして懇々東京大學に出掛けた程である何時も怒つて居るような顏付きが一寸癪に障るが、扨て會つて見れば實に淡然たるものだ。

●總督の李王招待　寺内總督は來る十日正午より龍山官邸に於て李王王妃の兩殿下を御招きして茶話會を開く由なり

●總督夫人の招待　寺内總督夫人は來る三日午後三時より愛國婦人會役員其他日鮮重なる夫人を招待し茶菓の饗應をなすといふ

●昨夜の晚餐會　卅一日夜總督官邸に於て寺内總督は在京中の博士及外數名の宗教家を招き晚餐の饗をなせり

●龍山軍人會發會式　龍山在郷軍人會分會の發會式は來四日日曜日午後一時より第六十五聯隊雨天練兵場に於て擧行する事に決し前日各方面に案内狀を發したるが當日は餘興などの催しもありと云へば定めて盛況ならん

●選擧人名簿完成　過般來調査中なりし會議所選擧人名簿は豫定の如く今一日を以て完成したるが總人員五百六十九人にして内一級選擧權者は小林盛宏氏外七十七人二級選擧權者は市原長兵衛氏外四百九十人なり因に一般縱覽を許すは來る五日よりなりと

●本山大每社長出發　入京中の大阪每日新聞社長本山彥一氏は二日午前九時十分發滊車にて平壤に向け出發せり因に氏は平壤より鎭南浦に出で同地視察の上更に平壤に引返し同地より陸路元山に赴く豫定なりと

●柴四朗氏入京　代議士柴四朗氏は三十一日來京巴城館へ投宿せり

●深尾課長の出張　深尾内務部庶務課長は臨時水利組合の竣工式に參列せんため三十一日出發する筈なるが群山及全州をも視察すべしと云ふ

●英國武官總督訪問　滯京中の英國武官トラレユーリ氏は一日午前官邸に寺内總督を訪問せり

●服制改正の發布　總督府吏員の服制改正は多分二日頃の官報を以て發布さるべきも其改正の要點は判任官の銀線及勅奏判任とも袖章の銀色なるを悉く金色に改むるに外ならずと云ふ

●山口書記長の歸任　書記長會議列席の爲め東上中なりし京城會議所書記長山口精氏は三十一日の夜歸任したり

▲京城手形交換高▼

六月	金高	枚數
一日	一八三二六六、五一〇	四七四

▲仁川港の出入船舶▼

▲福州丸　二日大阪より入港
▲濟州丸　同
▲福州丸　同同　安東縣へ向出港
▲群山丸　同　門司へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客（三十一日分）　乘車客 六四七　下車客 八二〇
▲南大門驛荷扱高（三十一日分）　貨物賃金 一、四九六、四〇
貨物賃金 八七〇、一四　發送 四六噸　到着 二七八噸
▲龍山驛乘降客（三十一日分）　乘車客 二四三　下車客 二〇一
貨物賃金 一六九、八九
▲龍山驛荷扱高（三十一日分）　發送 三噸　到着 一六〇噸
貨物賃金 六、三三

公人私人

△高橋康世（京城府事務官）　三十一日入京不知火へ
△井原外助（工學士）　天眞樓

內地巡禮日記（五）

水浪生

五月六日、本日は先輩友人に敬意を表すべく、安否を訪ふべく、亦答禮すべく出掛けた、電車で廻るは至極便利のトコロだが電車を便つて居ては一日に二三軒しか廻れぬ、無餘儀も電車以外の交通機關に俟ち、三田麴町牛込、小石川本鄕と廻つたが、幸に在邸で逢ふことの出來たのは、僅かに三人で、夫れも何れも半病人の先生達であつた、今や東京も中々多忙になつた、日中横臥して客を待ち居る樣な暢氣な境遇に在るものは殆んどない、玆に於てか早晨目一日と增長するのである。

五月七日、本日は昨の失敗に鑑み成べく寢込を襲はんと早晨に出掛けた、日は寢込を襲つた代りに相應の獲物を得た、一公二男及び二三の政友國民の領袖、其他某某なる實業大家に逢つた。

五月八日、今日は久振にて杉山其日庵を築地の浪居に問ふた其日庵は紳士としての邸宅を向島に有す、而かも好んで家族と離れ常に築地の浪宅に起臥す浪宅の事なれば刺を通ずるの形式もなく通れと言はるゝ儘に、庵主の居間に通る、庵主の商會は玆に云はずもがな政治家、政治屋、新聞記者果ては社會の不相變の千客萬來、實業家、虛業家、主義者までをも混じて塵挾きまでに居並べるを見受けた、暫くして用談果てしと見ゆて前客は順次に引取りたり、殊に社會主義者の如きは甚だ其日庵の說に感服して引取りたり、か、聽く者愚か、一体其日庵はイツの間に社會主義を研究せしか、思へば不思議なるは其日庵の舌力かな。

大汐の引きたる後ち殘れるは庵主と余との二人、對座してまづ緩井を平ぐ之れ腹が減つては戰が出來ねばなり、食後談を進めて半島の時事に及ぶ、庵主曰く今や半島の事語るに忍びず、聞くに忍びざるものあり、然れども物窮すれば必ず通ず、寺內總督や明石將軍や君等は幸に健在なれど、談論四時間別るゝに臨んで庵主は余に贈るに甞て約せし事ある無銘正宗の稱ある長劍一振を以てす、余受けて携へ辭して旅舍に歸り、其夜は四五の盟友と晚餐を共にす。

東京に朝鮮浪人會あり、彼等は每月一回築地の精養軒に會合して晚餐を共にし兼ねて懷舊談時事談を試む、余の友人某も其會員なり、彼れ語るらく在京朝鮮浪人は今や半島經營別働隊の觀あり、爲政者も君等も決して彼等の存在を無視すべきにあらずと。

▲治外法權▼

寺内將軍が統監となり次いで總督となつてから丁度十一ケ月だ、此間園遊會の開かれしこと幾回、而かも將軍の臨みし各園遊會には藝妓の出現は絶体に禁制であつた▲トコロが時勢の推移の然らしむるところとでも云をふか、過日大屋鐵道長官の開かれた園遊會には、絶体禁制の筈の藝妓が多數出現して興を添へた、而して總督も笑つて彼等の出現を見て居られた▲園遊會に藝妓の出現、之は何でもない樣な事だ、併し是に因つて時勢の推移を伺ふことが出來る、寺内總督とて何かにつけソウ〳〵何時までも野暮許りは云はぬ▲今年しや地方徵税の成績が良いとかで道長官から賞狀を受けた税吏もあるソウだ、ダが徵税成績の良いと云ふ裏面を見ると、面長が無理算段して、配下人民に税金を立換へて居る向もあるとの事だ、兎角地方の事は中央に解らぬものが多い▲パンカアーとか云ふ米國人が先般來朝鮮史の編纂に從事しつゝあつたが、近々脫稿して、上梓に及ぶソウだ、今や朝鮮史は日本史の一部だ、何の要あつてか特別に朝鮮史を編むか▲目下來城中なる大阪每日の本山社長は例の旅行慾を滿足させんがため近い平壤より元山へ陸行さるゝソウだ、今や平元鐵道問題熾んに起る、大每社長今回の行は慥かに沿道人民の歡呼に値せりだ。

●[illegible]官新任　[illegible]高等官[illegible]に新任されたり
[illegible]書記渡邊庄治、木村宜祐、同技手山田鶴藏、松尾萬喜、東堀秀太郎、中村豊[illegible]、田中浩一郎、時榮三の各氏は去る二[illegible]

●慶北内地觀察團　過般來各郡より一名宛内地觀察團を募集中なりし慶尙北道觀察團の一行は愈々來る十日[illegible]

●[illegible]浦監獄の工事　[illegible]浦に建築する京城監獄は工費三十万圓を以て建築する筈にて本年内にて竣工豫定なきも地均し工事だけは年内に竣了せしむる方針[illegible]

●仁川民長の上京　岩崎仁川民長は三十一日上京、大屋鐵道長官を訪ひ仁川築港起工式祝賀會に參列すべき[illegible]

●南部安東社長の入京　安東新報社長南部重遠氏は月成薫氏と共に一日入京浦尾旅館に投宿せり

●[illegible]島電報（明治町[illegible]）

	寄付	引
▲神戸鐵	三三〇〇	三三〇〇
▲京阪電	出來不申	出來不申
▲東京鐵	五七、五〇〇	五七、九〇〇
▲鐘淵紡	五七、五〇〇	五七、八〇〇
▲大阪紡	九七、二〇〇	九七、九〇〇
[illegible]	九七、四〇〇	九七、九〇〇
[illegible]	一〇二、〇〇〇	一〇三、一〇〇

▲大阪株式寄付 [illegible]　▲取引所直引寄付 [illegible]

●大阪期米電報

●仁川米豆取引所

●三十一日後場休會
●一日前場六月出來不申▲七月寄十一圓二十三錢▲最高二十五錢▲最低十八錢▲[illegible]八月[illegible]

…查局技術…湯淺…、木村…、同技手山田德厳、松尾義客、東郷秀太郎、中村…殿、田中希一郎、納榮三の各氏は去る二十七日附を以て何れも臨時土地調査局…

●慶北内地視察團 …より一名宛内地視察團を募集中なりし慶尚北道視察團の一行は愈々來る十日頃出發視察の途に就くべしと

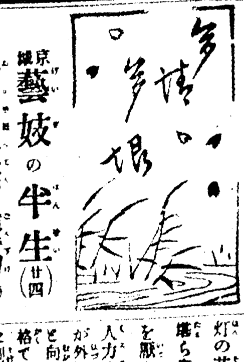
…道總務各部…館は工費三十万圓を以て建築する…館にて本年内にて竣工豫定なるも地均し工事だけは年内に終了せしむる方針なりと云ふ

…長は三十一日上京 大屋鐵道局長官を訪ひ仁川築港起工式祝賀會に參列すべき來賓の爲、十一、十二兩日京仁間鐵道運賃割引の交渉をなせりと云ふ

…南部…氏は…氏と共に一日入京浦尾旅館に投宿せり

●相場電報(明治町西村支店着)
先物 (卅一日後場引) (一日前場引)
▲鐘紡 ▲紡績 ▲大阪 ▲東京 ▲新株
…

●大阪期米電報
●三十一日後場休會 ●一日前場六月寄十七圓三十二錢▲三十錢▲七月寄四十一錢▲止三十六錢▲八月寄五十八錢▲止四…
●三十一日後場休會 ●一日前場六月出來不申▲七月寄十一圓二十三錢▲最高二十五錢▲最低十八錢▲八月寄二十錢▲最高五十七錢▲最低四十七錢▲止五十一錢



京城藝妓の半生(廿四)
井門本店 權助(二)

散ざ惡口を列べて而して御自分の都合の宜い事だけを書いた上後は權助の口を藉りては其方の御都合は可いとして此方樣の御都合甚だ以て宜しくないんですがね何にも天災と諦めて體面もなく饒舌らして頂きます少々の聞れ耳ぢやない眼を拜借致します、扨島津さんから**驅落の相談**を受けたときには餘まり唐突だつたので兎角の思案をする間もない、何が何やら**無我無中**の間に遮二無二**承諾**させられた、時は**三十九年の十二月二十六日**のこと丁度其の日の三時頃からチラツイて居た雪が夜に入つてから風さへ加はつて一寸先きも見へない如な**大吹雪**になつて恐ろしく寒い晩でした、妾がヅラかる手筈としては島津さんが茶屋の擬せ使ひを頼んで人力車を持たして口を掛ける而したら直ぐに其の人力車で**上田停車場**へ乘り着ける其處で**落合**つて互に手に手を鳥が啼く花のれ江戸へ突ッ走らうてね寸法なんでしたがね、何うしたものか約束時間の七時を過ぎても使ひが來ない氣が氣ぢやないでしょう左樣なつて見ると其の間の心の中と云ふものは櫟ぐられる樣な腹の立つ樣な夫りや言ひ樣もない變なもので兎ても我鑑の如な無調法な無口女には話し切れないから何分宜しく御推察を願ひますとして漸うやつと七時十五分に迎ひの人力車が來たので支度もソコ〳〵**吾妻コート**古風に**お高祖頭巾**に身を固めて背後に燧り火を浴びて裏路傳ひに雪の夜道を停車場にと急ぐ、**途中**で向ふから來る、**一臺の人力車**に**出逢**つた何分細い裏小路行り違はすのに暇が費る、此方は何にしろ落人の芒尾花ではなけれども風の音にも心を置き呼吸を屏ひ身の上、提灯の其の**火影に顔**を見られちや堪らないとホロの間から吹き込む粉雪を厭ふ樣子の**袖屏風**、コトリと人力車が搖れた途端狼狽して翳した手が外れてチラリ對手の容子が見れた、と向ふも何うやら思ひは同じ濡衣がの格で帽子と襟巻でスッカリ顏を隱んで之れ劉に横を向いて居る、其の変格好が何うも知つてる人らしい見付けられては一大事と再び袖を翳す間もなく無事に車が入れ替つて雪を蹴立てゝ右左、停車場へ乘着けた時には既う**滊車**は**發後**、併し**島津**さん一人の**影も見**へないで出發する筈はないと其處此處と見回はすけれど夫れらしい影も見へない、彼方も蛇度何かで遲れたに相違ないと思つて待ち合はせる事にした、次の滊車の發るには二時間と三十分程間があるから、**警察署**に宛てゝの**廢業屆**と**鑑札**とを一緒を封じて停車場のポストに投げ込んで悠と三等待合の片隅のベンチに腰を下して男の來るのを待つて居ました、繁華だ賑だと云つても田舍の事、た加けに其の雪と云ふのですもの停車場の中は森閑としたものです、けれども此方の身體と云ふのが無垢でないから其の心配つたらありませんね、コトリと音がしてもビクリ〳〵するのです、モウいゝいゝ二度と再び行る氣はありません、アラホントウですよ(つゞく)

●姦婦姦夫の行衛

數日前より仁川市中を彷徨する樣の何となく憂愁を帶べる三十才位の男子ありしより記者は不審と目星をつけ探りたるに此の男は靜岡縣生れにて數年前朝鮮に渡り新義州旭町一丁目にて古物商を營み居たる秋本淺次郎(三二)ところ知られたるが然るにても其の身邊には何等かの蟠りあるならんと想像に違はず淺次郎には原籍島根縣飯石郡來島村字野萱田部きわ(二八)と云ふ内縁の妻あり元々韓妻には相違なきも二人の交情は最も睦しかりしに去三月廿八日夫淺次郎は商用にて地方へ出張する事となり約一ケ月位ひ費すべきよりきわに現金二百五十圓を預け置き不在中店の商賣に差支のなき樣計らひ置き出立したるにきわは不埒にも夫の留守を之れ幸ひ不義の行動を演したるきわこそ惡むに餘りありと云ふべく然るに夫淺次郎は四十日程にして商用を終へ歸宅し久振りに我が妻の笑顏を見ん物と樂しみ居たるに豈料らんや我家は已に空家と變じ愛でし妻は何れに隱れしか商品から家財道具まで悉く大半失せ居たるにぞ淺次郎の驚愕や如何斗りなりけん暫し逆上して遂に其場に打倒れしが附近の者に扶けられ漸く正氣に立返りつゝ〳〵自分不在中に於ける妻きわの行動の探査にと取懸りたる處同所櫻町に住する無職安飛寛一(三八)と共謀し商品其他を五百余圓に賣却し夫より預りし現金二百五十圓もともに拐帶し互に手に手を取て新義州を後にと不義の道行なしたる事と判明したれば淺次郎は張り劂くる如き胸を撫御しながら暫し思案に暮れけるが姦夫寛一こそ當時無職の身とて糊口にも窮する有樣なれば淺次郎の厚き情けに店の手傳をなし相當の小遣を與へられつゝありしにも關らず斯る不義を爲せしことなれは身も世もあられず早速翌日は旅裝を整へ縱令一年二年かゝるともいかでか探し出して懲しめ遣らんと京義線の沿道から隅々まで探し廻り去月中旬京城の某旅館に熊谷多市同妻千代と稱して宿りたる人相こそまさしく姦夫姦婦に相違なしとまで突留めたれば淺次郎漸く捜査の端緒を得たるに勇氣百倍し尚も先頃仁川に來りし形跡ありとの事に目下市中を隈なく血眼に成て探し居るなりさは聞くも氣の毒なる次第なり

●不埒な一家

當地明治町一丁目に事務所を有する何とやら組合とかの理事なりと自稱する石見生れの何の藤二郎と云ふは今より八年以前渡鮮し大和町一丁目浪花湯に手傳ひとして雇はれ居る中不良ぬ漢を手下に附けて一方の親分となり其の筋の取締りの目を忍びて不良ぬ事を爲す一方には當時浪花湯の下女なりし籠の目まつとて夫ある女と私通し居たるが明治三十八年の春に至り遂に其筋より七ケ月退韓命令を受けしを伊藤組の主人が憫れと見て身元を引き受け謹愼せしむる事とし種々奔走の結果處分執行猶豫せらるゝ事となり落着せし後は流石の藤二郎も伊藤組の手前以前程の非行も爲し得ず謹愼の狀を表し居る四十年の二月兄常太郎が妻すみ養女しかの三人伴れにて渡鮮し來りたるより同人の名儀にて櫻井町に〇〇樓なる料理店を開業せしめたり斯る家に起居する養女のしかのは十三四歳の小娘ながら面白からぬ噂ありて中途退學せられたる程の女なりとぞ夫れは扨置き藤二郎は情婦籠の目まつの夫の好人物なるに附け込み幾分の手切金を與へて公然自分の妻となしたるが昨年九月兄常太郎が病死したる後は不倫にも嫂なるすみと關係したるとまつが嗅ぎ付け一悶着起りしにぞ出かには二百圓を手切金として更へ縁國せしめしが同人は間もなく再び渡來して目下浪花湯裏に細き烟を立て居る由なり扨も藤二郎は本年一月兄の遺骨を郷里に持ち歸り葬儀を營まんとて姪のしかのを伴ひ出發をし途中に於ていかのと醜關係を結び何食はぬ顏して歸宅せしが夫れと悟つたれすみはしかのを捉へて揉る踏むの親子喧嘩を演せしより手甲摺つた藤二は今度はすみを内地に歸し本年五月よりしかのと夫婦同樣に暮し居るぞ苦々しき次第なるが此所に哀れなるは藤二郎は姉某の娘二人を引き取り養育しつゝあるにしかのは此れを虐待するにぞ無斷家出せしに棄てゝも置けず諸所搜索の結果前記籠目まつの所に居ること判明りしが迎ひに行つても歸るは厭だと泣き居る由なり藤二もしかのも改せよ

●窃盜美人の裁判

一日京城區裁判所刑事部法廷に於て喜頭判事秋塢檢事立會にて一美人に係る公判ありたり被告人たる美人は山口縣下關市網大寺町二番地女海熊吉三女さく(一八)にして旭町一丁目料理店一二三亭に酌婦として去月上旬入込み二三日にして定期の健康診斷に行き其の際檢梅所に於て資來家酌婦赤城さもの朱珍丸帶(代十四圓)を竊取し直ちに旭町村上質店に入質したるより南部署に檢擧され取調の上身柄は放還され一件記錄檢事局に送られしが被告人は附近に面目なしとて一二三亭の親族にして忠清南道平澤の料理屋に鞍替へせしが一日第一回公判開廷せられし爲出廷せしものなるが被告人の原籍地に於ける身元不明の爲め一應取調べありて被告は留置せらるゝ事となり閉廷したり

●清人窃盜の公判

五月二十八日午後九時過ぎ京城第一憲兵分隊中上特務が本町三丁目密行中一清人の擧動不審なるより尾行中丸一呉服店に至り店先きに陳列しありたる浴衣地一反を窃取し下衣に隱し逃走せんとせしを取押へ分隊に引致取調べしに清國山東省萊州府生れ當時南大門外豆腐製造業宣恩天(三二)にして直ちに檢事局に送られしが一日京城地方裁判所に於て宮脇判事秋塢檢事立會の上公判開廷せられ審問終決し來る三日言渡わる筈なり

●三十撲らる 平安南道中和郡下道面生れ朴炳奎(三)は去る三十一日午後十一時頃泥醉して三阪通りを放歌徘徊中警官の制止に聽せず亂暴して笞刑三十に處せらる

●演藝だより

●筑前琵琶會 別項記載の如く目下滯京中なる高峯筑風子は有志の希望に依り來る三、四の兩日午後七時より**壽座**に於て演奏會公開すべく應援として出場するは琵琶に鈴木七郎(高峯子の實弟)井上霞曉、花屋の一丸其他例の菊家の御大文之助は長唄を、中嶋樂洋子のヴァイヲリン、中菅道雄、喜多仲子、天谷某子、古谷某子等の三曲合奏等ありと因に筑風子初日の演奏曲目は臺灣入、小楠公なり

●滯京中の高峯筑風 愛國婦人會總會及び軍隊慰問彈奏を終り超ねて一日龍山印刷局の招待に應じたる高峯筑風氏は二日大久保大將邸に催さるべき將校婦人招待會に招かれ得意の妙技を揮ふべしと尚夜間は龍山鐵道倶樂部にて數回の彈奏を試み三日四日の兩日は別項の如く公開演奏すべしと

●浪花館 ●●浪花節若圓一座二日の語物 三國一薮井玄伊(日本軒雲龍)入情裁判梅山大佐(東洋軒三笠)血氣傳義侠錢、田沼及傷、大和櫻義士面影(京山若圓)

蟇仙人の仙術の理法(十四)
余の觀たる片田源七翁の實驗に就て
福田山水

●白刄踏みの理法●●●●●

此二三日何かと忙しい用が有つて筆取る氣にもならず、讀者諸君には誠に相濟まぬ譯だつた、實の處通般仙術の理法の稿を起すや、間も無く長い發行停止で、京城新報とは何の關係も無い自分も、新報の發行停止には矢張り多少の心理的影響を受け、さなきだに浮世の世渡りに差し當り用も無き、仙術の詮議立ても何とやら氣合拔けが仕た樣で、斯くはダラ〳〵の不始末、其段不惡讀者の寛恕を乞ふて置く。

そこで白刄振り白刄踏みに次で蝦蟇仙人が最後にやつた白刄渡りは、當初實驗録にも記した通り、氷の樣な白刄で作りたてた七階の段階子をば跣足の儘で上下すると云ふ、はた目にもゾッとする怪奇な實驗である。

蝦が仔細に見來れば是も亦、白刄振り白刄踏みの理法の如く、極めて巧妙に物理的原則を應用し、載せた体重の重心の移動と、踏んだ白刄の角度の利用とで怪我せぬ要心は、蝦蟇仙姿ぞヌカらんや。からだは兎角大事である。若夫れ垂直に上に向けたる白刄の直線上に其体を置き、普通人の体量正に十四五貫の重力を以て垂下せば、靴履いた時は別として、跣足の裡の皮一分、ザクリと切れない道理があるなら證據すべし矣。

更に思ふ蝦蟇仙の實驗に於て、階段とせられたる七本の白刄は、果して其刄を上に垂直に保たれしか、前面より斜に見上ぐる見物の眼に垂直と見せんには勢ひ舞臺に於て苦心して少々歪めさる可らず。

すてで前に歪んだ白刄を前下に抑へ氣味にソッと踏み、いつも其体を上階に三段に持たせ掛ける呼吸よろしく、前下より後ろ上にジワ〳〵選ひ上る時体量の重心は、白刄の垂直線より後に外れてフッワリと、鈍角をなして白刄に當る、況んや選ふた時は立つた時程足に重みは無い筈、とすれば此一曲與殊に深し。

加之 老齢正に七十身長四尺七八寸、體量十二貫の内と見れば小男の蝦蟇仙、サテ及渡りに調法な男かな。

以上熱湯掬ひ火渡り白刄握り、白刄踏みや白刄渡りの物質的方面の解釋は大要述べた、固より其詳説は實驗其物に就て親しく指示するに非れば是を盡す事は容易でない、少なくとも押畫位は籍らなければ説き難い點もある、然るにろんな遑も無かつたので自然説明も不十分であつたが、巳を得ないので組織的の研究は他日の機會に讓り、是より作用即ち精神的關係である、處が仙術の理法なる題目も大分古くなつて讀者にも厭かれたらしいので、不日題を改めて稿を起すこととする。



目藥 かいしゅん 回春

代理店 京城南大門通二丁目 新井藥房 電話九百四番●千六十八番 振替口座京城十六番

弦齋流割烹 すゞ祢

南山町一丁目 電話千五百二番

眼科

京城本町六丁目（元軍司令部通り） 金井眼科醫院 電話一五五六番

院主 前大阪醫院眼科部長 金井豐七

腦病全治新藥



健腦丸

神經をちづめ 腦病を全治す

島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、腦病神經病に奇効を奏し、逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

記憶力悪き人 頭痛する人 神經衰弱にて氣分鬱ぐ人 常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也

新井藥房 電話一〇六八番 九〇四番 振替口座京城十六番

淋病內服新藥



ツヨール TUYOL

慶應岩佐觀山川の博學實證 加藤田邊諸士の實驗證明

本邦學界の名譽 世界の醫藥兩界に誇るべき一大發見

○本品は本邦藥學士が多年研究の結果發見せられたるものにて加ふるに上記專門諸大家によりて變化學的試驗及臨床的實驗等に於て從來公知のバルサム劑に比較し其の副作用を絶無に有効力卓越し淋毒性の尿道炎、膀胱炎、淋病、副睾丸炎等に偉効を奏す

○本品は壜入五百瓦、二百五十瓦、百瓦、卅五瓦、カプセル百粒、五十粒、三十粒入の七種あり

▲到處有名藥舖に販賣す、說明書無料贈呈す

發賣元 東京銀座一丁目 ツヨール商會 振替貯金一九七二九番

韓國特約店 京城本町一丁目 山岸天佑堂 電話三七二番 振替貯金口座二〇三番

嶄新建築材料

◎マルソイト便利瓦 ◎吉田木村防腐劑 ◎石綿セメント瓦 ◎P&Bフェルト ◎P&Bアスファルト ◎P&B建築用紙

◎特許自働窓框止 ◎建築用金物類 ◎壁紙及硝子紙 ◎リノリューム敷物 ◎鋼鐵中心飾 ◎鋼鐵打出天井板

京城永樂町二丁目 藤原京城支店（電話一八九番）

工事見積等は御相談に應可申候 御用の節は一報被下度候

洋式帳簿

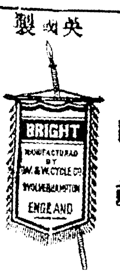
目錄進呈

特殊種の出來合品あり大概の御註文は直に間に合ます特別註文のものは如何樣にも調製致候

東京銀座三丁目 伊東屋 電話京橋一三二九、一七九六 振替口座五一一

英國製

BRIGHT MANUFACTURED BY SW. & W. CYCLE CO. WOLVERHAMPTON ENGLAND



直輸入新荷着

實用車 ブライト號

歐米各國自轉車 直輸入商 京城本町二丁目 織居商店自轉車部 電話四八〇番

旅館 京城ホテル

京城南山町三丁目 電話長一二三番 四九一番

日本室和食 特等（三圓五十錢） 一等（三圓） 二等（二圓五十錢） 三等（二圓）

腸胃新藥 タカヂアスターゼ

東京三共合資會社朝鮮總代理店 仁川本町 竹田津三平

愛國パーク（景品）當籤廣告 鹿兒島（品）

一等 二三八九、二八八三、六四一、七二七四、六一一六

二等 二七八八、六九二五、三〇四五

三等 一二九、七二、一二二九

四等 三九二二

五等 三三〇五

六等 四一四四

七等 五七三五、六三五一、二七二〇、四八五、七八七、三八九、七七七八

八等 四三二九、六四八二、七八六五、一〇二八、三八九四、五四四一

九等 四四四八、六九九三、五〇五二、一一五五、六八四九、四六二、七六八五、三三四四、六二四六、六〇二五

十等 一三三七三、六一八二、六〇七八、一七三三、八二〇〇、一〇〇九、一四三三

右之通當籤致候間自五月三十一日至六月三十日期間內に景品券御持參景品と御引替被下度此段廣告候也

京城明治町一丁目

京城發賣元 まる商會

京城發賣元 ま 京城古市町 前之園出張所

韓國銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

支店出張所（大阪、仁川、平壤、鎭南浦、元山、釜山、群山、馬山、城津、清津、新義州、安東縣）

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引ヲ有之候

產婦人科

本院 京城明治町一丁目（勸商場橫）電話九六〇番

診察時間 自午後一時至五時

本分院共 入院隨意

醫學士 本間健兒

分院 龍山柳町一丁目（電話計五二四番）

診察時間 自午前九時至正午

本分院共 入院隨意

一日にして効能は現る



複方タルリン

りん病のらい藥

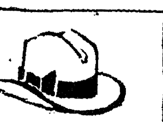
緒方病院長 高橋有効證明

本舖 日本大阪 高橋盛大堂

價 三日分 廿錢 七日分 四十錢 十四日分 七十五錢

代理店 京城本町五丁目 木下大盛堂 南大門三丁目 新井藥房

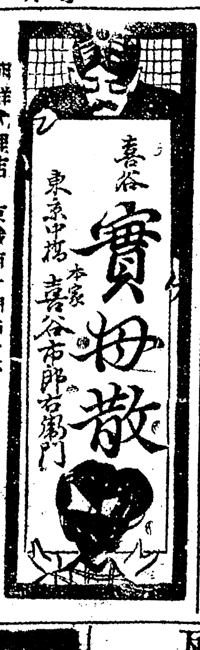
到る所の藥店に販賣す



夏帽子荷揃

パナマ 麥稈 學生用夏帽子

京城本町五丁目 丸二帽子店



喜谷 實母散

本家 東京中橋 喜谷市郎右衛門

朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

齒術一般

京城明治町一丁目（森村商店隣） 榊齒術所 電話は（六六九番）へ

家傳 名灸（といや）

うちみ くじき はねつき

特に 胃腸病 かつけ 專門

毎日午後二時迄點灸す

明治町一丁目百十番戶 荒川マッサージ院

總督府及諸官衙御用

荷物運搬 引越荷物受負

伊藤組

電話四〇番 本町三 電話七三二番 南大門 電話九四八番 大和町 電話一六〇八番 同 第二

入院隨意

夜間診察は九時迄

六〇六號注射の需に應ず

仁川病院 電話一六番

神戶海上運送火災保險株式會社

資本金五百萬圓

出張所 京城明治町一丁目（電話一五四九）

最上醬油

特約販賣 仁川 京城 高雄支店

純良 消毒牛乳

京城東四軒町 岡野牧場 電話一六十九番

瓦斯コークス販賣

京城黃金町高等演藝館前 酒井組 電話一二四九番

磨擦白米

能山精米所 京城倉町 電話二二番

◎貸金

旭町二ノ一五 別府 高橋

組車帳簿筋向小路

有給者には極秘密に低利融通可申候

入院隨意 中島醫院

京城齋町三丁目（電話三七八番）

院主 醫學得業士 中島貞信

美江 公州間 定期出帆廣告

美江發每日後一時公州發每日後六時... 公州着同日午後六時美江着同午前... 御客様の便乗用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり

京釜美江驛前 中條運送美江支店

キ 六月中 滊船出帆廣告

天草丸 ... 九州行 ... 日、日、日

秋田商會船舶部 京城本町四丁目 電話七三〇番

諸公債諸株券 現物賣買

迅速確實に御取扱可申候 兼業

京城本町三丁目 大坂野村商店代理店 田中友吉商店